



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校
学校だより No36
文責 芹川博文
1月30日(金)

「有言実行」 思いをカタチに ～ 児童会役員選挙の公約を果たしてタスキをつなぐ ～

昼休みの運動場に、ルール説明の
声が響き、その後、5、6年生合同
のドッジボールが始まりました。
ルールを説明した菊川 虎之助くん
は児童会副会長です。約1年前児童
会選挙の立会演説会で公約した隈府
小全体でのレクレーション。別日
には、1、2年生、3、4年生もそれ
ぞれ合同で交流会を行い、子ども
たちの笑顔の花が咲きました。

同じ日の5時間目前、「校長室前
に富田 悠葵くんが待っていますよ」
との連絡。急いで戻ると、児童会長の
富田くんが、全校児童に呼びかけ
て完成した「ありがとうの花束」を
持ってきて、「完成しました」と報
告してくれました。連日、給食時間



に放送で呼びかけて募集。色とりどりの紙花には、一枚一枚「ありがとうメッセージ」が書き込
まれています。この企画も菊川君と同様、富田くんが選挙公約で発表した内容とのこと。どこに
掲示したらよいか考え、来客用玄関の掲示板にしました。

そう言えば、二人とも、昨年末に行われた学校運営協議会での意見交換会で、「やりたいこと」
として、目を輝かせながら発表していました。二人が果たした「有言実行」。どちらも隈府小全
校児童みんなが笑顔になるプロジェクト。自分の考えを企画として提案し、全校児童に呼びか
けてカタチにするまでの道のりは大変だったことでしょう。しかし、現6年生が残してくれた
確かな足跡が、また一つ増えました。後輩にとって目標ともなる足跡です。

今週から登校時間に、次の児童会選挙に立候補した4、5年生が元気に挨拶運動をしていま
す。隈府小のリーダーとしてのタスキが渡される準備は、もう始まっています。

大縄 3分で150回 記録を達成したのは4年生 ～ 学びと遊びの融合「没頭タイム」で育つ子どもたち ～

3分間で150回。今年度の隈府小体育委員会主催、
「クラス対抗 大縄大会」の最高記録です。この記録を達
成したのは、6年生でも5年生でもなく、なんと4年生。
記録を出した4年2組の子どもたちの「舞台裏」を知り
たいと思い、担任の永野先生取材したところ・・・

「最初、体育の授業の最後5分くらいでやってみたところ、3分間で20～30回くらいでした。そこで『練習
しようか』と呼びかけ、昼休みに集まった10人くらい
に、大縄に入るタイミングや角度を確認して練習したと
ころ、みるみる上達。再び体育の時間にその10人でや
って見せると、他の児童にも『やる気の火』がついて、
昼休みにみんなでやるようになりました。イメージがついたんでしょうね。80回、100回と
回数が伸びるにつれ、やる気も伸びてきました。」とのこと。

みんなで何かに取り組んで達成した経験、「没頭タイム」の中で工夫したり悩んだりした経験
は、大きな自信となり成長の糧となることでしょう。「学び」と「遊び」の融合の中で、子ども
たちは数値では計りにくい非認知能力も伸ばしているようです。

